



事故の発生から 再発防止を検討

登下校時中の子供の列に、自動車が入り死傷者が多数発生する痛ましい事故が全国で相次いで発生した状況を受けて平成24年5月に文部科学省、警察、国土交通省が連携し、

通学路における交通安全を早期に確保する取り組みを行うこととなりました。

これを受け広島市も、小学校の通学路における緊急合同点検が行われました。

通学路の安全点検

湯来南学区では難所の一つ、砂谷中学校正門を含む道幅の

狭い約400m区間の通学路があり、公共施設もある歩道の無い通学路です。

また、中学校の正門への

進入路は歩くにも難しい急な上り坂です。とても急なため、車の前後の腹をこすります。よく皆さんは、我慢できるものと感心しますが、改善は容易ではありません。

早期の解決を望む 通学路の危険箇所

正門または、学校を移転するか難題です。野球も満足に出来ない狭い校地、移転を望む中学校です。

望まれる通行規制

このような状況にある通学路は、このままでは安心できません。早期に対策を講ずるべきです。



急な上り坂の砂谷中学校へ通う生徒

また、この通学路東の端に信号つきの交差点があり、横断歩道が設けてありますが、左折する車から子供たち歩行者が目に入りにくい横断歩道です。

一方の西の交差点は、信号が設置

してありません。拡幅歩道設置などが難しいならば、速度制限や、一方通行進入制限、カラー舗装等々の通行規制が考えられます。

安全な通学路へ 地域も取り組みを

しかし、商・公共施設が立ち並んだ地区だけに、関係者を初め地域住民の協力や理解が求められます。

安全な通学路を確保の為に真剣に考え、いくらかの支障にはご理解を求める思いです。

(吉田米治)

狭い歩道を、車を気にしながら歩く児童

